

履 修 案 内

平 成 29 年 度

佐 賀 大 学 大 学 院
地 域 デ ザ イ ン 研 究 科

目 次

平成29年度 学年暦及び年間行事予定表	2
学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）	3
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	4
授業科目の選び方	11
地域デザイン研究科履修モデル（コース毎）	12
履修について	16
修了要件と学位	16
研究指導計画	17
修士論文要領	18
教育職員免許状（専修）取得について	21
社会人のための特例による教育の実施について	24
佐賀大学大学院地域デザイン研究科規則	25
佐賀大学大学院地域デザイン研究科履修細則	28
開講科目	33
学生センターの配置図及び業務	37
教員研究室等案内図	38

平成29年度 学年暦及び年間行事予定表

月	日	曜	学 年 暦	行 事
4	1	土	前学期始、春季休業(4月6日まで)	学友会及びサークル紹介(1日・3日)(予定) 新入学生健康診断(1日・3日)(予定)
	3	月		前学期授業時間割発表
	4	火	平成29年度入学式	研究科オリエンテーション (学校教育学・地域デザイン・医学系・工学系) 学部オリエンテーション(医)(6日まで) 学生会紹介(医学部のみ)
	5	水	オリエンテーション	学部オリエンテーション (教育、芸術地域デザイン、経済、理工、農、 文化教育(編入学)) 研究科オリエンテーション(農学)
	7	金	前学期開講日	
5				
6	24	土		全学統一英語能力テスト(TOEIC)(未定)
7	1	土		全学統一英語能力テスト(TOEIC)予備日
	21	金		前学期定期試験時間割発表
	31	月		前学期定期試験(8月4日まで)
8	8	火	夏季休業(9月30日まで)	
	10	木		オープンキャンパス(予定)
9	22	金	平成29年度学位記授与式<9月期>	後学期授業時間割発表
	30	土	前学期終	
10	1	日	開学記念日、後学期始	
	2	月	後学期開講 平成29年度大学院入学式 (工学系博士後期課程等)	
11				
12	23	祝		全学統一英語能力テスト(TOEIC)(未定)
	26	火	冬季休業(1月8日まで)	
1	13	土		平成30年度大学入試センター試験 (1月14日まで)(未定)
	20	土		全学統一英語能力テスト(TOEIC)予備日
2	1	木		後学期定期試験時間割発表
	7	水		後学期定期試験(2月14日まで)
	25	日		平成30年度個別学力検査(前期日程) 入学試験(2月26日まで)予定
3	12	月		平成30年度個別学力検査(後期日程) 入学試験(3月13日まで)予定
	23	金	平成29年度学位記授与式<3月期>	
	31	土	後学期終	

* 6月10日・17日、7月8日・15日・22日、11月18日・25日、12月9日・16日、1月27日は、補講日とする。ただし、土曜日の補講日は、授業曜日が重ならないよう補講曜日を指定する。(通常の授業日の6校時も利用することができる。)

** 7月25日・28日、8月7日、12月25日、2月6日・15日は台風到来等対応の予備日

** 12月19日、1月31日は入試対応の予備日

注：予備日については、通常の休講等に対応するものではなく、入学試験及び台風の到来等による大学全体の臨時休業等に充当するものである。

平成30年度

4	1	日	前学期始、春季休業(4月6日まで)(予定)	
	3	火	平成30年度入学式	
	4	水	オリエンテーション	学部オリエンテーション(予定)
	9	月	前学期開講(予定)	

学位授与の方針

(ディプロマ・ポリシー)

学位授与の方針を以下のように定め、教育課程をその方針に沿って編成し、学生に以下の各項目を身につけさせる。大学院学則に定める単位を修得し修士論文を提出した者について修了判定を行い、合格とされた者に対し、地域デザイン研究科委員会の議を経て、学長が修了を認定し学位を授与する。

地域デザイン研究科地域デザイン専攻 学位授与の方針

以下に示す学生が身につけるべき学修成果の達成を、専攻の学位授与の方針とする。

1. 分野を横断した調査研究能力をもち、地域の課題を自ら発見し、課題解決に主体的に取り組むことができる能力を身につけている。
2. 地域の経済・文化の総合的発展と地域の歴史的・文化的資源の再生・活用に貢献できる能力を身につけている。
3. 芸術、フィールドデザイン、経済・経営の分野を学問的基盤とし、企業や自治体の中で地域活性化に中心となって取り組むことができる専門的能力を身につけている。

教育課程編成・実施の方針

(カリキュラム・ポリシー)

教育研究の理念と目的

地域デザイン研究科地域デザイン専攻の教育目的は、地域の文化と経済を総合的に発展させ、地域創生に主導的に携わる人材を養成することである。そのために、本研究科では主たる教育研究分野として「芸術」「フィールドデザイン」「経済・経営」の3分野をおく。それぞれの分野における専門的教育研究を深めると同時に、これらの3つの分野の連携による教育研究をすすめることを教育理念とし、学生が専門とする分野にとどまらず他の分野の知識や方法論を学び、視野を広げることで独自の地域創生に対する視点をもつ人材となる教育研究を行う。

教育目標及び教育課程の編成

1. 教育目的

地域デザイン研究科地域デザイン専攻の教育目的は、地域の文化と経済を総合的に発展させ、地域創生に主導的に携わる人材を養成することである。

2. 教育目標

地域デザイン研究科地域デザイン専攻では以下の専門的能力を学生に身につけさせることを教育目標とする。

- ① 分野を横断した調査研究能力をもち、リサーチ、フィールドワークによって地域の課題を掘り起こし、芸術表現だからこそ可能な地域社会へのアプローチを提示する能力。
- ② 分野を横断した調査研究能力をもち、アートマネジメントの手法によって、フィールドの潜在力を引き出し、地域を活性化する能力。
- ③ 分野を横断した調査研究能力をもち、経済分析能力、経営手法、国際経済に関する知識によって、地域経済社会活動の革新を促進する能力。
- ④ 以上のことを、地域を越えて、国内外の様々な場で行える能力。

研究における専門性を高めるために教育課程編成上、芸術デザインコースと地域マネジメントコースを設置し、上記の地域デザイン専攻の教育目標に加え、それぞれのコースにおける教育目標を以下のように定める。

① 芸術デザインコース

芸術に関しての高度な専門知識と表現技能を修得し、それらを国際的に通用するレベルに発展させるとともに、マネジメントの能力とフィールドデザインの思考を身に付けることにより、幅広い視点から地域の文化芸術・産業の課題を見出し、芸術を通してその課題の解決ができる高度な専門的能力を身に付ける。

② 地域マネジメントコース

経済・経営の高度な専門的知識の獲得によるマネジメントの能力とグローバル経済における市場の展開を理解し分析できる能力の修得に加え、芸術の表現の理解及びフィールドデザインの思考を身につけることにより、幅広い視点から地域経済と文化の課題の解決と国際的展開ができる高度な専門的能力を身に付ける。

教育目的に対応する科目の配置と履修

専攻での教育目的に対応させた研究科間基礎科目、共通科目、専門科目、修士論文指導科目という科目分類を定め、体系的な科目群を構成にすることと修了要件32単位中10単位の共通科目を置くことにより、3つの分野の専門性と領域横断性の両方を担保する教育課程とする。

研究科間基礎科目の内容と目的

「大学院教育課程の質の向上及び各専攻の教育目的に沿った体系的な教育プログラム提供の一環として、大学院課程の基礎教養科目として研究科間共通科目を開設する」という佐賀大学大学院教育課程の方針により、研究科間基礎科目を設定し、2単位を必修とする。

共通科目の内容と目的

知識・スキル・視点を与えるための科目を配置し、必修とする。共通科目設置の目的は、研究科の理念に合わせ、地域創生において主導的な役割を果たす人材となるため、また国際的な地域創生の活動にも対応できる人材となるための基盤となる知識やスキルを学ぶことである。また、専門分野の異なる研究科生全員と一緒に授業を受け、ディスカッションやグループワークを行うことにより、異分野から対象をみる視点を培うとともに、外国語を含むコミュニケーションスキルを身につけることができる。また、共通科目（必修）と共通科目（選択）は、本研究科の全学生が3分野の視点やアプローチを学ぶための重要な科目群でもある。

共通科目(必修, 選択)は、以下の本研究科が目指す人材が有しているべき能力に対応している。

① 分野を横断した調査研究能力をつけるための科目

「リサーチメソッド」「地域創生とデータ分析」「地域デザイン総合演習」

② 芸術・文化資源をつかって地域を活性化するための能力をつけるための科目

「地域創生とアート」「地域創生キュレーション」「やきものによる地域創生」「ヘリテージマネジメント論」

③ 地域経済社会のためのイノベーションを促進する能力をつけるための科目

「地域創生とデータ分析」「地域創生と経済」「都市デザイン論」「都市空間論」

④ 地域を越えて、国内外で地域創生に関わる能力をつけるための科目

「異文化コミュニケーション研究」「国際関係と地域創生」

専門科目の内容と目的

研究科の「専門科目」を，教育研究分野として「芸術」，「フィールドデザイン」，「経済・経営」に分類し，開講することで，研究テーマを広い視点から考察できる知識と能力を養うことができるようにする。専門科目は以下のような教育目的に沿って開設する。

① 「芸術」教育研究分野（Ⅰ群科目）

ア) デザイン科目

場や人とかかわりながらデザインの発想によってコトやモノの創造を行っていく研究を行うためにデザイン特別研究群を配置する。

イ) 美術表現科目

環境や場やモノの潜在力を最大限に引き出しながら表現に高める研究を行い，美術の活動を実践する力を育成するために表現特別研究群を配置する。

ウ) 素材技法表現科目

素材技法について熟知し，素材技法の特性から発想しながら表現へと高め，商品開発や地域資源を活用する知識や方法論について研究を深めるために素材技法特別研究群を配置する。

② 「フィールドデザイン」教育研究分野（Ⅱ群科目）

ア) シニアキュレーティング・アートマネジメント科目

博物館や美術館において必要とされる，専門的な知識と技能を身につけ，博物館や美術館において企画展示，調査・研究，そして教育普及に携わるだけの学芸員ではなく，経営についての高度な知識をもち，国内外の人と作品と市場をつなぐことのできる上級キュレーターを養成するためにシニアキュレーティング・アートマネジメント科目を配置する。

イ) 美術史・ヘリテージマネジメント科目

考古学と美術史の専門を深めるとともに，地域の歴史的，考古的，記憶的遺産を資源として活用する能力を身につけるため，美術史・ヘリテージマネジメント科目を配置する。

ウ) 都市デザイン・都市空間科目

工学，地理学，芸術の方法論を融合させ，地域全体の空間デザインを実現できる能力を身につけるため都市デザイン・都市空間科目を配置する。

③ 「経済・経営」教育研究分野（Ⅲ群科目）

ア) 経営科目

経営の高度な専門的知識の獲得によるマネジメントの思考及び市場の展開を理解し分析できる能力を修得し，地域再生・地域産業の発展とそれを支える経営理論の展開を図るため，経営科目群を配置する。

イ) 経済科目

経済の高度な専門的知識の獲得によってグローバル経済における市場の展開を理解し分析できる能力を修得し，地域再生・経済政策とそれを支える経済理論の展開を図るため，経済

科目群を配置する。

ウ) 会計科目

会計の高度な専門的知識の獲得によって地域再生や地域産業発展に重要な役割を果たす企業における財務・会計分析能力を修得し、地域企業の振興と地域の再生を支えるため、会計科目群を配置する。

エ) 経済・経営情報科目

経済・経営情報に関する高度な専門的知識の獲得によって、地域の課題の解決と国際的展開において情報を収集、蓄積、分析、発信する能力を修得し、地域の再生と振興を支える情報分析の展開を図るため経済・経営情報科目群を配置する。

オ) 法務科目

企業活動に関連する法律の高度な専門的知識の獲得によって、地域企業の法的課題の理解と解決ができる能力を修得し、地域経済の再生と振興を支える法務の展開を図るため法務科目群を配置する。

以上のように研究科に教育研究分野ごとに科目群を配置したうえで、これらの専門科目を、学位授与の方針及び専攻の教育目的に照らして、コース毎の教育課程として編成するために、3つの研究教育分野の専門科目を「芸術研究科目群」「地域研究科目群」「マネジメント科目群」「経済・経営研究科目群」としてまとめる。

「芸術研究科目群」

芸術研究教育分野（Ⅰ群）の科目及びフィールドデザイン研究教育分野（Ⅱ群）の科目から構成され、芸術に関わる制作・理論・歴史を修得する科目群。

「地域研究科目群」

フィールドデザイン研究教育分野（Ⅱ群）及び経済・経営研究分野（Ⅲ群）の科目から構成され、地域の歴史と社会及び経済に関わる分析方法を修得する科目群。

「マネジメント研究科目群」

フィールドデザイン研究教育分野（Ⅱ群）及び経済・経営研究分野（Ⅲ群）の科目から構成され、企業のマネジメントにとどまらずアートや文化遺産のマネジメントを修得する科目群。

「経済・経営研究科目群」

経済・経営研究教育分野（Ⅲ群）の科目から構成され、経済と経営の理論・分析手法および関連法務を修得する科目群。

芸術デザインコースの専門科目は「芸術研究科目群」「地域研究科目群」「マネジメント研究科目群」から構成され、地域マネジメントコースの専門科目は「地域研究科目群」「マネジメント研究科目群」「経済・経営科目群」から構成される。

芸術デザインコースの学生は専門とする研究分野に対応して「芸術研究科目群」「地域研究科目

群」「マネジメント科目群」のうちひとつを選択し、登録する。登録した科目群から6単位上、その他の2つの科目群からそれぞれ2単位以上を修得する。地域マネジメントコースの学生は専門とする研究分野に対応して「地域研究科目群」「マネジメント研究科目群」「経済・経営研究科目群」のうちひとつを選択し、登録する。登録した科目群から6単位上、その他の科目群から2単位以上を修得する。

このような教育科目群の構成および単位設定によって、専門とする研究教育分野内で単位取得が完結することなく、学生が「芸術」、「フィールドデザイン」、「経済・経営」の3分野の科目を研究目的に応じて履修し、指導教員のアドバイスに従い、専門研究を進めることができるようにする。

修士論文指導科目の内容と目的

専門分野での修士論文作成や修了制作を通じて自律的に課題を発見する能力と課題解決のための研究力を培う科目として、「修士論文指導科目」を置き、特別演習Ⅰ、特別演習Ⅱ、課題研究Ⅰ、課題研究Ⅱを配置する。1年次末に研究に関する報告会、2年次10月に修士論文の中間報告会を研究科の教員が参加して行う。

芸術デザインコースにおける教育目標を達成するための授業科目の流れ（カリキュラムマップ）

学位授与の方針	授 業 科 目 名			
	1 年前期	1 年後期	2 年前期	2 年後期
1	研究科間基礎科目	研究科間基礎科目		
	異文化コミュニケーション		地域デザイン総合演習	
	リサーチメソッド			
	特別演習I	特別演習II	課題研究I	課題研究II
2	地域創生と経済	地域創生とアート		
	地域創生とデータ分析	地域創生キュレーション		
	キュレーション特別研究I	国際関係と地域創生		
	アートマネジメント・プロデュース特別研究I	やきものによる地域創生		
	ヘリテージマネジメント論			
	都市デザイン論			
	都市空間論			
3	地域史特別研究I	都市デザイン特別研究		
	地域経済分析研究	都市空間特別研究		
	地域マネジメント史研究	地域史特別研究II		
	地域雇用政策研究	都市・交通経済分析研究		
	地域商業研究	政策評価研究		
	流通経済研究	地域マーケティング研究		
	企業法研究	キュレーション特別研究II		
	視覚デザイン特別研究 a	芸術文化遺産特別研究		
	情報デザイン特別研究 a	アートマネジメント・プロデュース特別研究II		
	彫刻素材技法特別研究	ヘリテージマネジメント特別研究		
	西洋画素材技法特別研究	マーケティング研究		
	日本画素材技法特別研究	財務会計研究		
	漆・木工芸素材技法特別研究	経営財務研究		
	窯芸素材技法特別研究	視覚デザイン特別研究 b		
	空間表現特別研究 a	情報デザイン特別研究 b		
	映像デザイン特別研究 a	彫刻表現特別研究		
	コンテンツデザイン特別研究 a	西洋画表現特別研究		
	セラミックエンジニアリング特別研究	日本画表現特別研究		
	アートコンサベーション特別研究	漆・木工芸表現特別研究		
	美術史特別研究 I	窯芸表現特別研究		
	空間表現特別研究 b			
	映像デザイン特別研究 b			
	コンテンツデザイン特別研究 b			
	美術史特別研究II			

地域マネジメントコースにおける教育目標を達成するための授業科目の流れ（カリキュラムマップ）

学位授与 の方針	授 業 科 目 名			
	1 年前期	1 年後期	2 年前期	2 年後期
1	研究科間基礎科目	研究科間基礎科目	地域デザイン総合演習	
	異文化コミュニケーション			
	リサーチメソッド			
	特別演習I	特別演習II	課題研究I	課題研究II
2	地域創生と経済	地域創生とアート		
	地域創生とデータ分析	地域創生キュレーション		
	キュレーション特別研究I	国際関係と地域創生		
	アートマネジメント・プロデュース特別研究I	やきものによる地域創生		
	ヘリテージマネジメント論			
	都市デザイン論			
	都市空間論			
3	地域史特別研究I	都市デザイン特別研究		
	地域経済分析研究	都市空間特別研究		
	地域マネジメント史研究	地域史特別研究II		
	地域雇用政策研究	都市・交通経済分析研究		
	地域商業研究	政策評価研究		
	流通経済研究	地域マーケティング研究		
	企業法研究	キュレーション特別研究II		
	環境法研究	芸術文化遺産特別研究		
	ゲーム理論研究	アートマネジメント・プロデュース特別研究II		
	ミクロ経済学研究	ヘリテージマネジメント特別研究		
	行動経済学研究	マーケティング研究		
	簿記会計研究	財務会計研究		
	管理会計研究	経営財務研究		
	経営情報処理研究	マクロ経済学研究		
	経済経営データ分析研究	開発経済論研究		
	労務管理研究	経営情報研究		
	国際経済研究	応用計量経済学研究		
		労働関係法研究		
		民事取引法研究		
		国際経済史研究		

授業科目の選び方

(1) 自分の研究目的にそって、授業科目シラバスに記載された内容及び指導教員の意見を参考にしながら、履修細則に定める修了要件を満たすよう履修する。

(2) 科目分類及び実施法

科目分類・科目群が設定されているので、修了要件を確認し履修をすすめる。

研究科間基礎科目（講義）：佐賀大学研究科で設定された共通の基礎科目

共通科目（講義）：専攻の基盤となる分野に関する講義及び学生による報告と討論

専門科目（講義）：科目群が設定された教育研究分野での各専門分野についての教員による講義及び学生による報告と討論

修士論文指導科目（演習）：学生自らの研究分野に関して、修士論文作成を目的とする学生の研究発表と教員による指導

(3) 研究目的及び獲得する能力に対応した履修モデル例を示しておく。

地域デザイン研究科 履修モデル（コース毎）

【芸術デザインコース】 芸術研究

履修モデル① 西洋画を専門とした作家

開講年次	研究科間基礎科目	共通科目	専門科目 (登録した科目群)	専門科目 (その他の科目群)	修士論文 指導科目	履修登録 単位数
1年前期	プレゼンテーション 英語特論	異文化コミュニケーション リサーチメソッド 地域創生と経済	西洋画素材技法特別研究 空間表現特別研究 a		特別演習I	18 単位
1年後期		地域創生とアート	西洋画表現特別研究	芸術文化遺産特別研究 地域マーケティング研究	特別演習II	12 単位
2年前期		地域デザイン総合演習			課題研究I	4 単位
2年後期					課題研究II	2 単位
履修登録 単位数	2 単位	10 単位	12 単位	4 単位	8 単位	36 単位

履修モデル② 日本画を専門として専修免許（中高美術）を取得

開講年次	研究科間基礎科目	共通科目	専門科目 (登録した科目群)	専門科目 (その他の科目群)	修士論文 指導科目	履修登録 単位数
1年前期	プレゼンテーション 英語特論	異文化コミュニケーション リサーチメソッド 地域創生と経済	日本画素材技法特別研究 彫刻素材技法特別研究	地域史特別研究I	特別演習I	20 単位
1年後期		地域創生とアート 地域創生キュレーション	日本画表現特別研究 空間表現特別研究 b	芸術文化遺産特別研究	特別演習II	16 単位
2年前期		地域デザイン総合演習 アートマネジメント・プロ デュース特別研究I			課題研究I	6 単位
2年後期					課題研究II	2 単位
履修登録 単位数	2 単位	14 単位	16 単位	4 単位	8 単位	44 単位

履修モデル③ 美術史美術理論を専門とした学芸員

開講年次	研究科間基礎科目	共通科目	専門科目 (登録した科目群)	専門科目 (その他の科目群)	修士論文 指導科目	履修登録 単位数
1年前期	プレゼンテーション 英語特論	異文化コミュニケーション リサーチメソッド 地域創生とデータ分析	美術史特別研究I アートコンサベーション 特別研究	地域史特別研究I	特別演習I	16 単位
1年後期		地域創生とアート	美術史特別研究II	芸術文化遺産特別研究 地域マーケティング研究	特別演習II	10 単位
2年前期		地域デザイン総合演習			課題研究I	4 単位
2年後期					課題研究II	2 単位
履修登録 単位数	2 単位	10 単位	6 単位	6 単位	8 単位	32 単位

履修モデル④ セラミックを専門とした作家

開講年次	研究科間基礎科目	共通科目	専門科目 (登録した科目群)	専門科目 (その他の科目群)	修士論文 指導科目	履修登録 単位数
1年前期	プレゼンテーション 英語特論	異文化コミュニケーション リサーチメソッド 地域創生とデータ分析	窯芸素材技法特別研究 セラミックエンジニアリング 特別研究	地域史特別研究 I	特別演習 I	20 単位
1年後期		やきものによる地域創生	窯芸表現特別研究	キュレーション特別研究 II	特別演習 II	10 単位
2年前期		地域デザイン総合演習			課題研究 I	4 単位
2年後期					課題研究 II	2 単位
履修登録 単位数	2 単位	10 単位	12 単位	4 単位	8 単位	36 単位

履修モデル⑤ 彫刻を専門として専修免許（中高美術）を取得

開講年次	研究科間基礎科目	共通科目	専門科目 (登録した科目群)	専門科目 (その他の科目群)	修士論文 指導科目	履修登録 単位数
1年前期	人権教育特論	異文化コミュニケーション リサーチメソッド 地域創生と経済	彫刻素材技法特別研究 美術史特別研究 I		特別演習 I	18 単位
1年後期		地域創生とアート 地域創生キュレーション	彫刻表現特別研究 空間表現特別研究 b 美術史特別研究 II	都市空間特別研究 芸術文化遺産特別研究	特別演習 II	18 単位
2年前期		地域デザイン総合演習 アートマネジメント・プロ デュース特別研究 I			課題研究 I	6 単位
2年後期					課題研究 II	2 単位
履修登録 単位数	2 単位	14 単位	16 単位	4 単位	8 単位	44 単位

履修モデル⑥ ミクストメディアを専門とした地方自治体職員

開講年次	研究科間基礎科目	共通科目	専門科目 (登録した科目群)	専門科目 (その他の科目群)	修士論文 指導科目	履修登録 単位数
1年前期	プレゼンテーション 英語特論	異文化コミュニケーション リサーチメソッド 地域創生と経済	空間表現特別研究 a	地域史特別研究 I	特別演習 I	16 単位
1年後期		地域創生キュレーション	空間表現特別研究 b コンテンツデザイン特別研究 b	マーケティング研究	特別演習 II	14 単位
2年前期		地域デザイン総合演習			課題研究 I	4 単位
2年後期					課題研究 II	2 単位
履修登録 単位数	2 単位	10 単位	12 単位	4 単位	8 単位	36 単位

地域デザイン研究科 履修モデル（コース毎）

【芸術デザインコース】 地域研究

履修モデル① まちづくりの企画・立案・実施において活躍できる人材

開講年次	研究科間基礎科目	共通科目	専門科目 (登録した科目群)	専門科目 (その他の科目群)	修士論文 指導科目	履修登録 単位数
1年前期	プレゼンテーション 英語特論	異文化コミュニケーション リサーチメソッド 都市デザイン論 アートマネジメント・プロ デュース特別研究Ⅰ			特別演習Ⅰ	12単位
1年後期			都市デザイン特別研究 都市空間特別研究	アートマネジメント・プロ デュース特別研究Ⅱ	特別演習Ⅱ	8単位
2年前期		地域デザイン総合演習 地域創生とデータ分析	地域史特別研究Ⅰ	映像デザイン特別研究 a	課題研究Ⅰ	12単位
2年後期					課題研究Ⅱ	2単位
履修登録 単位数	2単位	12単位	6単位	6単位	8単位	34単位

履修モデル② 地域振興においてリーダーシップを発揮できる人材

開講年次	研究科間基礎科目	共通科目	専門科目 (登録した科目群)	専門科目 (その他の科目群)	修士論文 指導科目	履修登録 単位数
1年前期	プレゼンテーション 英語特論	異文化コミュニケーション リサーチメソッド 都市空間論 アートマネジメント・プロ デュース特別研究Ⅰ			特別演習Ⅰ	12単位
1年後期			都市デザイン特別研究 都市空間特別研究	アートマネジメント・プロ デュース特別研究Ⅱ	特別演習Ⅱ	8単位
2年前期		地域デザイン総合演習 地域創生とデータ分析	地域経済分析研究	情報デザイン特別研究 a	課題研究Ⅰ	12単位
2年後期					課題研究Ⅱ	2単位
履修登録 単位数	2単位	12単位	6単位	6単位	8単位	34単位

履修モデル③ 地域創生の国際的展開に貢献できる人材

開講年次	研究科間基礎科目	共通科目	専門科目 (登録した科目群)	専門科目 (その他の科目群)	修士論文 指導科目	履修登録 単位数
1年前期	プレゼンテーション 英語特論	異文化コミュニケーション リサーチメソッド ヘリテージマネジメント論	地域史特別研究Ⅰ 地域マネジメント史研究		特別演習Ⅰ	14単位
1年後期		国際関係と地域創生	地域史特別研究Ⅱ	ヘリテージマネジメント 特別研究	特別演習Ⅱ	8単位
2年前期		地域デザイン総合演習 地域創生と経済		美術史特別研究Ⅰ	課題研究Ⅰ	8単位
2年後期				美術史特別研究Ⅱ	課題研究Ⅱ	4単位
履修登録 単位数	2単位	12単位	6単位	6単位	8単位	34単位

地域デザイン研究科 履修モデル（コース毎）

【地域マネジメントコース】

履修モデル① 文化を活用し、地域経済振興に貢献する人材

開講年次	研究科間基礎科目	共通科目	専門科目 (登録した科目群)	専門科目 (その他の科目群)	修士論文 指導科目	履修登録 単位数
1年前期		異文化コミュニケーション リサーチメソッド	地域経済分析研究 地域商業研究		特別演習I	10単位
1年後期	産学連携特論	地域創生とアート 地域創生キュレーション	政策評価研究	芸術文化遺産特別研究	特別演習II	12単位
2年前期		地域デザイン総合演習		ミクロ経済学研究 国際経済研究	課題研究I	8単位
2年後期					課題研究II	2単位
履修登録 単位数	2単位	10単位	6単位	6単位	8単位	32単位

履修モデル② 地域経済の国際的展開に貢献する人材

開講年次	研究科間基礎科目	共通科目	専門科目 (登録した科目群)	専門科目 (その他の科目群)	修士論文 指導科目	履修登録 単位数
1年前期	プレゼンテーション 英語特論	異文化コミュニケーション リサーチメソッド	流通経済研究		特別演習I	10単位
1年後期		地域創生とアート やきものによる地域創生	マーケティング研究 アートマネジメント・ プロデュース特別研究II	地域マーケティング研究	特別演習II	12単位
2年前期		地域デザイン総合演習		経済経営データ分析研究 国際経済研究	課題研究I	8単位
2年後期					課題研究II	2単位
履修登録 単位数	2単位	10単位	6単位	6単位	8単位	32単位

履修モデル③ 社会人のリカレント教育

開講年次	研究科間基礎科目	共通科目	専門科目 (登録した科目群)	専門科目 (その他の科目群)	修士論文 指導科目	履修登録 単位数
1年前期		異文化コミュニケーション リサーチメソッド	簿記会計研究		特別演習I	8単位
1年後期		地域創生とアート		財務会計研究 経営財務研究 地域マーケティング研究		8単位
2年前期	プレゼンテーション 英語特論	地域デザイン総合演習	管理会計研究 経済経営データ分析研究			8単位
2年後期		国際関係と地域創生			特別演習II	4単位
3年前期					課題研究I	2単位
3年後期					課題研究II	2単位
履修登録 単位数	2単位	10単位	6単位	6単位	8単位	32単位

※夜間開講で対応。勤務状況等を考慮し、長期履修制度を利用し、3年目に修士論文作成に専念するモデル。

履修について

- 1 Webによる履修登録になるので、詳細は学生便覧「履修登録について（授業を受ける前に!）」を参照すること。不明な点があれば教務課地域デザイン研究科教務担当に問い合わせること。
集中講義は学期途中から開始されるので、その都度履修登録手続きをすること。
- 2 特別演習・課題研究の時間割は、教員と学生との話し合いにより決定する。

修了要件と学位

(1) 修了要件

本研究科に原則として2年以上在学して、所定の授業科目について32単位（演習8単位、その他24単位）以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、本研究科に1年以上在学すれば足りるものとする。

(2) 学 位

上記修了要件を満たした者には、修士（地域デザイン）の学位を授与する。

研究指導計画

年次	目 的	時期	内 容
1 年次	研究計画明確化のための指導及びそれに沿った研究指導と履修指導	4月	主指導教員及び副指導教員の決定 研究科教育委員会による履修ガイダンス 主指導教員による履修指導 学生による研究実施計画書の作成に対する指導 研究テーマの設定
		10月	研究実施報告書及び進捗状況の把握に基づく指導 研究指導計画書
		3月	研究進捗状況に関する報告会 進捗状況の把握に基づく指導
2 年次	学位論文の作成の指導	4月	研究実施報告書及び進捗状況の把握に基づく指導 研究指導計画 学位論文テーマの確定 学位論文作成方針の明確化のための指導
		10月	研究実施報告書及び進捗状況の把握に基づく指導 研究指導計画書 学位論文の中間報告会
		12月	学位論文の題目及び概要の提出 主査、副査の決定
		1月	学位論文提出
		2月	研究実施報告書（総括と提出） 学位論文審査
		3月	学位授与

修士論文要領

(平成28年3月16日制定)

(学位の申請)

第1 所定の授業科目の単位を修得した者又は修得見込みの者は、修士論文を提出し、学位を研究科長に申請することができる。

(提出書類)

第2 修士の学位を申請する場合は、次に掲げる書類を、第3に定める期限までに学務部教務課に提出するものとする。

- (1) 学位申請書 1部
- (2) 修士論文 4部(3部は写しとすることができる。)
- (3) 論文要旨 4部(3部は写しとすることができる。)

2 前項の書類の提出にあたっては、事前に修士論文の題目を第3に定める期限までに学務部教務課に提出しなければならない。

(提出期限)

第3 修士論文の提出期限は、修了年度の1月20日午後5時までとし、芸術デザインコースの修了制作の提出期限は、修了年度の2月15日午後5時までとする。また、論文題目の提出期限は、前年12月20日午後5時までとする。(提出期限の日が、土曜、日曜又は休日の場合は、直後の平日を期限日とする。以下この項において同じ。)

なお、9月に修了が予定される者の修士論文の提出期限は、修了年度の7月20日午後5時までとし、芸術デザインコースの修了制作の提出期限は、修了年度の7月31日午後5時までとする。また、論文題目の提出期限は、6月20日午後5時までとする。

(使用言語)

第4 修士論文は、日本語を原則とする。なお、英語については、申し出により別途考慮することがある。

(字数)

第5 修士論文の字数は2万字以上とし、併せて論文要旨(1,000字以内)を提出するものとする。ただし、修士論文の字数については申し出により、内容及びテーマを勘案して別途考慮することがある。

なお、英語論文の字数(論文要旨の字数も含む。)については、第4の考慮の際併せて考慮する。

(言語と字数に別途考慮を求める者の手続)

第6 第4及び第5に規定する別途考慮を求める者は、あらかじめその旨を主指導教員に申し出て、許可を受けなければならない。主指導教員は副指導教員と協議し許可、不許可を判断し、主指導教員が学生に通知する。

なお、許可を受けた場合は、論文題目提出時にその旨を付記するものとする(付記のない場合は、2万字以上の日本語による論文提出予定者とみなす。)

(用紙)

第7 修士論文及び論文要旨については、A4判白紙に全角を1字として1ページに1,200字程度となるよう印字することを原則とする。原稿用紙を用いる場合は、A4判400字詰原稿用紙を使用するものとする。

(口頭試問)

第8 修士論文提出者は、指導教員が指定する日時(修了年度の2月中を予定。ただし、9月に修

了が予定される者については、修了年度の8月中を予定。)に修士論文に関する口頭試問を受けなければならない。

(修士論文及び修了制作の評価基準)

第9 修士論文及び修了制作の評価基準は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 修士論文の題目に関する文献・資料を広く渉猟していること。
- (2) 当該研究分野の既存の研究動向をよく踏まえていること、そして独自の分析視点が組み入れられていること。
- (3) 上記の内容が首尾一貫性を有し、目次、結論、論文要旨を通じ、論文全体の構成が明快になっていること。
- (4) 修士論文審査における質疑応答において明晰な論文内容及び趣旨が、報告又は説明されること。
- (5) 修了制作は明確な制作意図が表現されていること。そして修了制作発表を行うこと。

附 則

この要領は、平成28年4月1日から実施する。

修士論文題目届出様式例(第2関係)

平成 年 月 日

佐賀大学大学院

地域デザイン研究科長 様

専攻名

学籍番号

氏名

印

地域デザイン研究科修士論文題目の届出について

このことについて、地域デザイン研究科修士論文要領第2に基づき下記のとおり届出いたします。

記

1. 修士論文題目

2. 指導教員名

主指導教員

印

副指導教員

印

副指導教員

印

3. その他特記事項

(地域デザイン研究科修士論文要領第4及び第5の考慮について、該当があればその旨を記載)

教育職員免許状（専修）取得について

当該免許状の一種免許状を有する者（所要資格を満たしている者を含む）が、修士の学位を取得し、かつ当該研究科において教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得（←認定を受けた科目から24単位以上を修得）したときは、次に示す教育職員免許状を取得することができる。（上記の「修士の学位を取得」には、大学院に1年以上在学し、30単位以上を修得した場合を含む。）

専攻	コース	教育職員免許状の種類	免許の教科
地域デザイン専攻	芸術デザインコース	中学校教諭専修免許状	美術
		高等学校教諭専修免許状	美術
		高等学校教諭専修免許状	工芸
	地域マネジメントコース	高等学校教諭専修免許状	商業

専修免許状取得のための履修科目表

※○印の中から24単位以上修得

芸術デザインコース

科目分類	授業科目	単位数	中学校		
			美術	美術	工芸
基盤科目	異文化コミュニケーション	2	○	○	○
融合科目	地域創生とアート	2	○	○	○
	地域創生キュレーション	2	○	○	○
	キュレーション特別研究Ⅰ	2	○	○	○
	アートマネジメント・プロデュース特別研究Ⅰ	2	○	○	○
マネジメント研究 科目群	キュレーション特別研究Ⅱ	2	○	○	○
	芸術文化遺産特別研究	2	○	○	○
	アートマネジメント・プロデュース特別研究Ⅱ	2	○	○	○
芸術研究 科目群	視覚デザイン特別研究a	4	○	○	
	視覚デザイン特別研究b	4	○	○	
	情報デザイン特別研究a	4	○	○	○
	情報デザイン特別研究b	4	○	○	○
	彫刻素材技法特別研究	4	○	○	
	彫刻表現特別研究	4	○	○	
	西洋画素材技法特別研究	4	○	○	
	西洋画表現特別研究	4	○	○	
	日本画素材技法特別研究	4	○	○	
	日本画表現特別研究	4	○	○	
	漆・木工芸素材技法特別研究	4	○		○
	漆・木工芸表現特別研究	4	○		○
	窯芸素材技法特別研究	4	○		○
	窯芸表現特別研究	4	○		○
	空間表現特別研究a	4	○	○	
	空間表現特別研究b	4	○	○	
	映像デザイン特別研究a	4	○	○	○
	映像デザイン特別研究b	4	○	○	○
	コンテンツデザイン特別研究a	4	○	○	○
	コンテンツデザイン特別研究b	4	○	○	○
	アートコンサベーション特別研究	2	○	○	○
	美術史特別研究Ⅰ	2	○	○	○
	美術史特別研究Ⅱ	2	○	○	○

地域マネジメントコース

科目分類	授業科目	単位数	高校
			商業
融合科目	地域創生と経済	2	○
	地域創生とデータ分析	2	○
地域研究 科目群	地域経済分析研究	2	○
	都市・交通経済分析研究	2	○
	地域マネジメント史研究	2	○
	地域雇用政策研究	2	○
	政策評価研究	2	○
	地域マーケティング研究	2	○
	地域商業研究	2	○
マネジメント研究 科目群	流通経済研究	2	○
	マーケティング研究	2	○
	企業法研究	2	○
経済・経営研究 科目群	環境法研究	2	○
	ゲーム理論研究	2	○
	マクロ経済学研究	2	○
	行動経済学研究	2	○
	開発経済論研究	2	○
	簿記会計研究	2	○
	管理会計研究	2	○
	経営情報処理研究	2	○
	経営情報研究	2	○
	経済経営データ分析研究	2	○
	労務管理研究	2	○
	労働関係法研究	2	○
	民事取引法研究	2	○
	国際経済研究	2	○
	国際経済史研究	2	○

社会人のための特例による教育の実施について

大学院設置基準第14条では、「修士課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合は、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」と規定され、社会人等の修学に配慮がなされています。

本学大学院地域デザイン研究科では、大学院での履修を希望する社会人に対し、同条に定める教育方法の特例による教育を実施しています。

この概要は、次のとおりです。

- (1) 特例の適用を受ける者は、修業年限2年間にわたり夜間における履修を認められる。
- (2) 特例の適用により履修しようとする者のため、夜間の授業時間帯を2時限(18:00~19:30及び19:40~21:10)設ける。
- (3) 学生には、年度始めに2年間にわたる講義計画を予告し、指導教員の指導のもとに2年間を見通した履修計画を立てさせる。

(注) 一般選抜により入学を許可された社会人であっても、特例の適用をうけることができる。

佐賀大学大学院地域デザイン研究科規則

(平成28年2月24日制定)

(趣旨)

第1条 佐賀大学大学院地域デザイン研究科(以下「研究科」という。)に関する事項は、国立大学法人佐賀大学基本規則(平成16年4月1日制定)、佐賀大学大学院学則(平成16年4月1日制定。以下「大学院学則」という。)及び佐賀大学学位規則(平成16年4月1日制定。以下「学位規則」という。)に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(研究科の目的)

第2条 研究科は、芸術、フィールドデザイン、経済・経営の3つの研究教育分野の連携により、芸術分野の持つ「創造力、表現力そして感性」、「自らの意思や意図を表現し伝達するためのコミュニケーション・スキル」、社会科学の分野が提供する「社会やニーズの変化や動向を予測、分析する能力」、そして「人々を通してあるべきことをより良く行い、実現するためのマネジメント能力」を兼ね備えた、各専門分野における「自律的に創造する専門家」として、地域の再生とイノベーションに貢献できる人材を養成することを目的とする。

(専攻及びコース)

第3条 研究科の専攻に次のコースを置く。

専攻名	コース名
地域デザイン専攻	芸術デザインコース、地域マネジメントコース

2 専攻の目的は、各コースにおいて次に掲げるとおりとする。

- (1) 芸術デザインコース 芸術に関する高度な専門知識と表現技能を修得し、それらを国際的に通用するレベルに発展させるとともに、マネジメントの能力とフィールドデザインの思考を身に付けることにより、幅広い視点から地域の文化芸術・産業の課題を見出し、芸術を通してその課題の解決ができる高度な専門的能力を持った人材を養成すること。
- (2) 地域マネジメントコース 経済・経営の高度な専門的知識の獲得によるマネジメントの能力とグローバル経済における市場の展開を理解し分析できる能力の修得に加え、芸術の表現の理解及びフィールドデザインの思考を身につけることにより、幅広い視点から地域経済と文化の課題の解決と国際的展開ができる高度な専門的能力を持つ人材(ブリッジ・パーソン)を養成すること。

(指導教員)

第4条 学生の専門とする分野の研究を指導するため、学生ごとに主指導教員1人及び副指導教員2人を置く。

2 前項の副指導教員のうち1人は他の研究教育分野の教員とする。

(授業科目、単位数及び履修方法)

第5条 授業科目、単位数及び履修方法は、佐賀大学大学院地域デザイン研究科履修細則(平成28年2月24日制定)に定めるところによる。

2 教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

(他の大学院等における授業科目の履修)

第6条 学生は、大学院学則第14条の規定に基づき、他の大学院及び外国の大学院の授業科目を履修する

ことができる。

- 2 主指導教員は、研究指導上必要があると認めるときは、学生が他の研究科の授業科目を履修することを認めることができる。

(入学前の既修得単位の認定)

第7条 研究科が必要と認めるときは、大学院学則第15条の規定に基づき、学生が大学院に入学する前に大学院又は他の大学院において履修した授業科目について修得した単位を、大学院に入学した後の大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(他の大学院等における研究指導)

第8条 学生は、大学院学則第17条の規定に基づき、他の大学院又は研究所等(外国の大学院又は研究所等を含む。)において、必要な研究指導を受けることができる。ただし、当該研究指導を受ける期間は1年を超えないものとする。

- 2 主指導教員は、研究指導上必要があると認めるときは、学生が他の研究科において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし、当該研究指導を受ける期間は1年を超えないものとする。

(履修手続)

第9条 履修しようとする授業科目については、各学期とも所定の期間に定められた方法により履修手続をしなければならない。ただし、学期の中途から開始される授業科目については、その都度履修手続をしなければならない。

(成績判定及び単位の授与)

第10条 授業科目を履修した場合には、成績判定の上、合格した者に対して所定の単位を与える。

- 2 成績判定は、平素の学修状況、学修報告、論文及び試験等によって行う。

- 3 成績は、秀・優・良・可・不可の評語をもって表わし、秀・優・良・可を合格とし、不可は不合格とする。

(試験)

第11条 試験は、毎学期末又は毎学年末において授業担当教員が行う。

(学位論文の提出)

第12条 学位規則第7条第1項の規定により、修士の学位の授与を受けようとする者は、申請書類とともに、学位論文を指定した期日までに研究科長に提出しなければならない。

(学位論文審査員)

第13条 佐賀大学大学院地域デザイン研究科委員会(以下「研究科委員会」という。)は、修士論文の審査のため、研究科の教員の中から3人以上の学位論文審査員(以下「審査員」という。)を選出し、うち1人を主査とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、学位論文の審査に当たって必要があるときは、研究科委員会の議を経て、他の研究科、他の大学院又は研究所等(外国の大学院又は研究所等を含む。)の教員等を審査員に加えることができる。

(入学者の選考)

第14条 入学者の選考は、その志望する専攻を修めるために必要な学力及び能力について行う。

(研究生及び科目等履修生)

第15条 研究科の教育研究に支障のないときは、研究科委員会の議を経て、研究生及び科目等履修生の入

学を認めることができる。

2 研究生及び科目等履修生として入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者

(2) 研究科委員会において前号と同等以上の学力があると認められた者

(特別研究学生)

第16条 研究科は、他の大学院又は外国の大学院等との協議に基づき、他の大学院等の学生が特別研究学生として研究指導を受けることを認めることができる。

(特別聴講学生)

第17条 研究科は、他の大学院又は外国の大学院等との協議に基づき、他の大学院等の学生が特別聴講学生として授業科目を履修することを認めることができる。

(転入学又は再入学を許可された者の既修得単位等の認定)

第18条 研究科に転入学又は再入学を許可された者が、佐賀大学の大学院又は他の大学院(外国の大学院を含む。)で既に修得した単位数及び在学した期間は、研究科委員会の議を経て通算することができる。

(雑則)

第19条 この規則に定めるもののほか、研究科に関し、必要な事項は、研究科委員会において定める。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

佐賀大学大学院地域デザイン研究科履修細則

(平成28年2月24日制定)

(趣旨)

第1条 佐賀大学大学院地域デザイン研究科規則（平成28年2月24日制定。以下「研究科規則」という。）第5条の規定に基づく佐賀大学大学院地域デザイン研究科（以下「研究科」という。）の授業科目、単位数及び履修方法は、この細則の定めるところによる。

(授業科目、単位数及び履修方法)

第2条 授業科目及び単位数は、別表Ⅰ、別表Ⅱ、別表Ⅲ及び別表Ⅳに定めるとおりとする。

- 2 学生は、別表Ⅰに掲げる共通科目から10単位以上、別表Ⅱに掲げる専門科目から12単位以上、別表Ⅲに掲げる修士論文指導科目から8単位、別表Ⅳに掲げる研究科間基礎科目から2単位以上、計32単位以上を修得しなければならない。
- 3 別表Ⅱの履修に当たっては、学生は1年次の前学期の初めに主として履修する科目群を登録し、その登録した科目群から6単位以上、それ以外の科目群からそれぞれ2単位以上を修得しなければならない。
- 4 学生（社会人特別選抜により入学した者を除く）の単位について、研究科規則第4条第2項により夜間に開講される授業科目の単位は、10単位までを限度として第2項に定める単位に含めることができる。

(単位認定)

第3条 研究科規則第6条及び第7条の規定により修得した授業科目の単位数は、6単位を限度として、前条第2項に規定する別表Ⅱに掲げる専門科目から12単位以上のうちに含めることができる。この場合において、単位が認定される科目群については、研究科委員会の議を経て、決定する。

附 則

この細則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成29年1月25日改正）

この細則は、平成29年4月1日から施行する。

別表Ⅰ（第2条関係）

共通科目

科目区分		授 業 科 目	単 位 数	備 考
共通科目	基盤科目	異文化コミュニケーション	2	必修
		リサーチメソッド	2	必修
		地域デザイン総合演習	2	必修
	融合科目	地域創生とアート ※2	2	芸術デザインコースは、※1のついた科目から2単位以上を修得すること。 地域マネジメントコースは、※2のついた科目から2単位以上を修得すること。
		地域創生キュレーション ※2	2	
		地域創生と経済 ※1	2	
		地域創生とデータ分析 ※1	2	
		国際関係と地域創生	2	
		やきものによる地域創生	2	
		キュレーション特別研究Ⅰ ※2	2	
		アートマネジメント・プロデュース特別研究Ⅰ ※2	2	
		ヘリテージマネジメント論 ※2	2	
		都市デザイン論 ※2	2	
		都市空間論	2	

別表Ⅱ－Ⅰ（第2条関係）

芸術デザインコース

科目区分		授 業 科 目	単 位 数	備 考
専門科目	地域研究科目群	都市デザイン特別研究	2	
		都市空間特別研究	2	
		地域史特別研究Ⅰ	2	
		地域史特別研究Ⅱ	2	
		地域経済分析研究	2	
		都市・交通経済分析研究	2	
		地域マネジメント史研究	2	
		地域雇用政策研究	2	
		政策評価研究	2	
		地域マーケティング研究	2	
		地域商業研究	2	

科目区分	授 業 科 目	単 位 数	備 考
専 門 科 目	マネジメント研究科目群		
	キュレーション特別研究Ⅱ	2	
	芸術文化遺産特別研究	2	
	アートマネジメント・プロデュース特別研究Ⅱ	2	
	ヘリテージマネジメント特別研究	2	
	流通経済研究	2	
	マーケティング研究	2	
	財務会計研究	2	
	経営財務研究	2	
	企業法研究	2	
	芸術研究科目群		
	視覚デザイン特別研究a	4	
	視覚デザイン特別研究b	4	
	情報デザイン特別研究a	4	
	情報デザイン特別研究b	4	
	彫刻素材技法特別研究	4	
	彫刻表現特別研究	4	
	西洋画素材技法特別研究	4	
	西洋画表現特別研究	4	
	日本画素材技法特別研究	4	
	日本画表現特別研究	4	
	漆・木工芸素材技法特別研究	4	
	漆・木工芸表現特別研究	4	
	窯芸素材技法特別研究	4	
	窯芸表現特別研究	4	
	空間表現特別研究a	4	
	空間表現特別研究b	4	
映像デザイン特別研究a	4		
映像デザイン特別研究b	4		
コンテンツデザイン特別研究a	4		
コンテンツデザイン特別研究b	4		
セラミックエンジニアリング特別研究	4		
アートコンサベーション特別研究	2		
美術史特別研究Ⅰ	2		
美術史特別研究Ⅱ	2		

別表Ⅱ－２（第２条関係）

地域マネジメントコース

科目区分	授 業 科 目	単 位 数	備 考	
専 門 科 目	地域 研究 科目 群	都市デザイン特別研究	2	
		都市空間特別研究	2	
		地域史特別研究Ⅰ	2	
		地域史特別研究Ⅱ	2	
		地域経済分析研究	2	
		都市・交通経済分析研究	2	
		地域マネジメント史研究	2	
		地域雇用政策研究	2	
		政策評価研究	2	
		地域マーケティング研究	2	
		地域商業研究	2	
	マ ネ ジ メ ン ト 研 究 科 目 群	キュレーション特別研究Ⅱ	2	
		芸術文化遺産特別研究	2	
		アートマネジメント・プロデュース特別研究Ⅱ	2	
		ヘリテージマネジメント特別研究	2	
		流通経済研究	2	
		マーケティング研究	2	
		財務会計研究	2	
		経営財務研究	2	
	企業法研究	2		
	経 済 ・ 経 営 研 究 科 目 群	環境法研究	2	
		マクロ経済学研究	2	
		ミクロ経済学研究	2	
		ゲーム理論研究	2	
		行動経済学研究	2	
		開発経済論研究	2	
		簿記会計研究	2	
		管理会計研究	2	
		経営情報処理研究	2	
		経営情報研究	2	
		経済経営データ分析研究	2	
		応用計量経済学研究	2	
		労務管理研究	2	
労働関係法研究		2		
民事取引法研究	2			
国際経済研究	2			
国際経済史研究	2			

別表Ⅲ（第2条関係）

科目区分		授 業 科 目	単 位 数	備 考
指 修 導 士 科 論 目 文	特別演習	特別演習Ⅰ	2	必修
		特別演習Ⅱ	2	必修
	課 題 研 究	課題研究Ⅰ	2	必修
		課題研究Ⅱ	2	必修

別表Ⅳ（第2条関係）

科目区分	授 業 科 目	単 位 数	備 考
研 究 科 間 基 礎 科 目	学術英語特論	2	
	職業倫理特論	2	
	ビジネスマネジメント特論	2	
	数値計算法特論	4	
	産学連携特論	2	
	情報セキュリティ特論	2	
	人権教育特論	2	
	プレゼンテーション英語特論	2	

芸術デザインコース 開講科目一覧

専攻名	科目分類	科目名	単位数	学年	学期	担当者名	備考		
地域デザイン専攻	研究科間 基礎科目	学術英語特論	2	1	前期				
		職業倫理特論	2	1	後期				
		ビジネスマネージメント特論	2	1	後期				
		数値計算法特論	4	1	通年				
		産学連携特論	2	1	後期				
		情報セキュリティ特論	2	1	前期				
		人権教育特論	2	1	前期				
		プレゼンテーション英語特論	2	1	前期				
	共通科目	基礎科目	異文化コミュニケーション	2	1	前期	ホートン		
			リサーチメソッド	2	1	前期	青木、田中石、山下、平地 山本、竹野、(期)平井		
			地域デザイン総合演習	2	2	前期	石崎、山下、中村博		
		融合科目	地域創生とアート	2	1	前期	(非常勤)中尾智路		
			地域創生キュレーション	2	1	後期	花田伸一		
			地域創生と経済	2	1	前期	亀山嘉大		
			地域創生とデータ分析	2	1	前期	中村博和		
			国際関係と地域創生	2	1	後期	山崎 功		
			やきものによる地域創生	2	1	後期	赤津・田中・西島		
			キュレーション特別研究 I	2	1	前期	小坂智子		
			アートマネジメント・プロデュース特別研究 I	2	1	前期	花田伸一		
			ヘリテージマネジメント論	2	1	前期	重藤輝行		
			都市デザイン論	2	1	前期	有馬隆文		
			都市空間論	2	1	前期	山下宗利		
			地域研究 科目群	都市デザイン特別研究	2	1	後期	有馬隆文	【修了要件】 学生は、どの科目群 を主たる履修科目群 とするかを1年次の履 修登録時に登録し、そ の登録した科目群か ら6単位以上を、それ 以外の科目群からそ れぞれ2単位以上を修 得すること。
	都市空間特別研究	2		1	後期	山下宗利			
	地域史特別研究 I	2		1	前期	山崎 功			
	地域史特別研究 II	2		1	後期	山崎 功			
	地域経済分析研究	2		1	前期	戸田順一郎			
	都市・交通経済分析研究	2		1	後期	亀山嘉大			
	地域マネジメント史研究	2		1	前期	山本長次			
	地域雇用政策研究	2		1	前期	富田義典			
	政策評価研究	2		1	後期	中西 一			
	地域マーケティング研究	2		1	後期	山口夕妃子			
	地域商業研究	2		1	前期	西島博樹			
	マネジメント研究 科目群	キュレーション特別研究 II		2	1	後期	小坂智子		
		芸術文化遺産特別研究		2	1	後期	石井美恵		
		アートマネジメント・プロデュース特別研究 II		2	1	後期	花田伸一		
		ヘリテージマネジメント特別研究		2	1	後期	重藤輝行		
		流通経済研究		2	1	前期	宮崎卓朗		
		マーケティング研究		2	1	後期	洪 廷和		
		財務会計研究		2	1	後期	(非常勤)大石柱一		
		経営財務研究		2	1	後期	(非常勤)大坪稔		
		企業法研究		2	1	前期	小西みも恵		
	専門科目	芸術研究 科目群		視覚デザイン特別研究a	4	1	前期	荒木博申	
				視覚デザイン特別研究b	4	1	後期	荒木博申	
				情報デザイン特別研究a	4	1	前期	杉本達應	
				情報デザイン特別研究b	4	1	後期	杉本達應	
				彫刻素材技法特別研究	4	1	前期	徳安和博	
				彫刻表現特別研究	4	1	後期	徳安和博	
				西洋画素材技法特別研究	4	1	前期	小木曾誠	
			西洋画表現特別研究	4	1	後期	小木曾誠		
日本画素材技法特別研究			4	1	前期	石崎誠和			
日本画表現特別研究			4	1	後期	石崎誠和			
漆・木工芸素材技法特別研究			4	1	前期	井川健			
漆・木工芸表現特別研究			4	1	後期	井川健			
特別演習		窯芸素材技法特別研究	4	1	前期	田中右紀			
		窯芸表現特別研究	4	1	後期	田中右紀			
		空間表現特別研究a	4	1	前期	柳 健司			
		空間表現特別研究b	4	1	後期	柳 健司			
		映像デザイン特別研究a	4	1	前期	中村隆敏			
		映像デザイン特別研究b	4	1	後期	中村隆敏			
		コンテンツデザイン特別研究a	4	1	前期	土屋貴哉			
		コンテンツデザイン特別研究b	4	1	後期	土屋貴哉			
		セラミックエンジニアリング特別研究	4	1	前期	赤津隆			
		アートコンサベーション特別研究	2	1	前期	石井美恵			
		美術史特別研究 I	2	1	前期	吉住磨子			
美術史特別研究 II	2	1	後期	吉住磨子					
修士論文 指導科目	特別演習	特別演習 I	2	1	前期	指導教員			
		特別演習 II	2	1	後期	指導教員			
	課題研究	課題研究 I	2	2	前期	指導教員			
		課題研究 II	2	2	後期	指導教員			

地域マネジメントコース 開講科目一覧

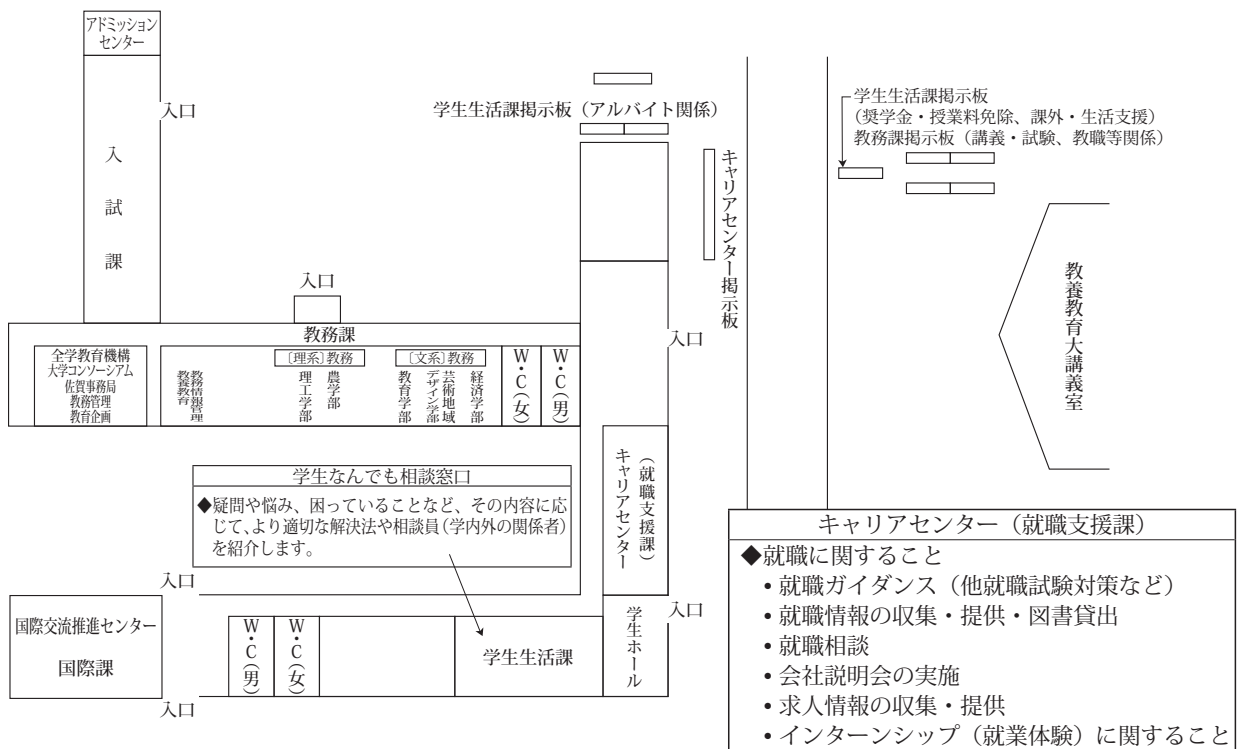
専攻名	科目分類	科目名	単位数	学年	学期	担当者名	備考	
地域デザイン専攻	研究科間 基礎科目	学術英語特論	2	1	前期			
		職業倫理特論	2	1	後期			
		ビジネスマネージメント特論	2	1	後期			
		数値計算法特論	4	1	通年			
		産学連携特論	2	1	後期			
		情報セキュリティ特論	2	1	前期			
		人権教育特論	2	1	前期			
		プレゼンテーション英語特論	2	1	前期			
	共通科目	基盤科目	異文化コミュニケーション	2	1	前期	ホートン	
			リサーチメソッド	2	1	前期	荒木、田中君、山下、平地 山本、竹村、(非常勤)	
		融合科目	地域デザイン総合演習	2	2	前期	石崎、山下、中村博	
			地域創生とアート	2	1	前期	(非常勤)中尾智路	
			地域創生キュレーション	2	1	後期	花田伸一	
			地域創生と経済	2	1	前期	亀山嘉大	
			地域創生とデータ分析	2	1	前期	中村博和	
			国際関係と地域創生	2	1	後期	山崎 功	
			やきものによる地域創生	2	1	後期	赤津・田中・西島	
			キュレーション特別研究 I	2	1	前期	小坂智子	
			アートマネジメント・プロデュース特別研究 I	2	1	前期	花田伸一	
			ヘリテージマネジメント論	2	1	前期	重藤輝行	
			都市デザイン論	2	1	前期	有馬隆文	
			都市空間論	2	1	前期	山下宗利	
	専門科目	地域研究 科目群	都市デザイン特別研究	2	1	後期	有馬隆文	【修了要件】 学生は、どの科目群 を主たる履修科目群 とするかを1年次の履 修登録時に登録し、そ の登録した科目群か ら6単位以上を、それ 以外の科目群からそ れぞれ2単位以上を修 得すること。
			都市空間特別研究	2	1	後期	山下宗利	
			地域史特別研究 I	2	1	前期	山崎 功	
			地域史特別研究 II	2	1	後期	山崎 功	
			地域経済分析研究	2	1	前期	戸田順一郎	
			都市・交通経済分析研究	2	1	後期	亀山嘉大	
			地域マネジメント史研究	2	1	前期	山本長次	
			地域雇用政策研究	2	1	前期	富田義典	
			政策評価研究	2	1	後期	中西 一	
			地域マーケティング研究	2	1	後期	山口夕妃子	
		地域商業研究	2	1	前期	西島博樹		
		マネジメント研究 科目群	キュレーション特別研究 II	2	1	後期	小坂智子	
			芸術文化遺産特別研究	2	1	後期	石井美恵	
			アートマネジメント・プロデュース特別研究 II	2	1	後期	花田伸一	
			ヘリテージマネジメント特別研究	2	1	後期	重藤輝行	
			流通経済研究	2	1	前期	宮崎卓朗	
			マーケティング研究	2	1	後期	洪 廷和	
			財務会計研究	2	1	後期	(非常勤)大石桂一	
			経営財務研究	2	1	後期	(非常勤)大坪稔	
			企業法研究	2	1	前期	小西みも恵	
			環境法研究	2	1	前期	櫻澤秀木	
		経済・経営研究 科目群	ゲーム理論研究	2	1	前期	都築治彦	
			ミクロ経済学研究	2	1	前期	都築治彦	
			マクロ経済学研究	2	1	後期	谷晶紅	
			行動経済学研究	2	1	前期	竹村敏彦	
開発経済論研究			2	1	後期	サーリヤ・デイ・シルバ		
簿記会計研究			2	1	前期	木戸田力		
管理会計研究			2	1	前期	小川哲彦		
経営情報処理研究			2	1	前期	安田伸一		
経営情報研究			2	1	後期	羽石寛志		
経済経営データ分析研究	2		1	前期	中村博和			
応用計量経済学研究	2		1	後期	上山和俊			
労務管理研究	2		1	前期	平地一郎			
労働関係法研究	2		1	後期	早川智津子			
民事取引法研究	2		1	後期	中山泰道			
国際経済研究	2		1	前期	張 韓模			
国際経済史研究	2		1	後期	金子晋右			
修士論文 指導科目	特別演習		特別演習 I	2	1	前期	指導教員	
		特別演習 II	2	1	後期	指導教員		
	課題研究	課題研究 I	2	2	前期	指導教員		
		課題研究 II	2	2	後期	指導教員		

地域デザイン研究科地域デザイン専攻 開設科目

専攻名	科目分類	科目名	必・選	形態	単位数	学年	学期	担当者名			
研究科間 基礎科目		学術英語特論	選択	講義	2	1	前期				
		職業倫理特論	選択	講義	2	1	後期				
		ビジネスマネジメント特論	選択	講義	2	1	後期				
		数値計算法特論	選択	講義	4	1	通年				
		産学連携特論	選択	講義	2	1	後期				
		情報セキュリティ特論	選択	講義	2	1	前期				
		人権教育特論	選択	講義	2	1	前期				
		プレゼンテーション英語特論	選択	講義	2	1	前期				
		共通科目	基礎科目	異文化コミュニケーション	必修	講義	2		1	前期	ホートン
				リサーチメソッド	必修	講義	2		1	前期	栗本、田中、山下、澤島、山本、竹村、(非)平井
地域デザイン総合演習	必修			演習	2	2	前期	石崎、山下、中村博			
融合科目	地域創生とアート		選択	講義	2	1	前期	(非常勤)中尾智路			
	地域創生キュレーション		選択	演習	2	1	後期	花田伸一			
	地域創生と経済		選択	講義	2	1	前期	亀山嘉大			
	地域創生とデータ分析		選択	講義	2	1	前期	中村博和			
	国際関係と地域創生		選択	講義	2	1	後期	山崎 功			
	やきものによる地域創生		選択	演習	2	1	後期	赤津・田中・西島			
	キュレーション特別研究Ⅰ		選択	講義	2	1	前期	小坂智子			
I群 (芸術)	アートマネジメント・プロデュース特別研究Ⅰ	選択	講義	2	1	前期	花田伸一				
	ヘリテージマネジメント論	選択	講義	2	1	前期	重藤輝行				
	都市デザイン論	選択	講義	2	1	前期	有馬隆文				
	都市空間論	選択	講義	2	1	前期	山下宗利				
	視覚デザイン特別研究a	選択	演習	4	1	前期	荒木博申				
	視覚デザイン特別研究b	選択	演習	4	1	後期	荒木博申				
	情報デザイン特別研究a	選択	演習	4	1	前期	杉本達應				
	情報デザイン特別研究b	選択	演習	4	1	後期	杉本達應				
	彫刻素材技法特別研究	選択	演習	4	1	前期	徳安和博				
	彫刻表現特別研究	選択	演習	4	1	後期	徳安和博				
II群 (フィールド デザイン)	西洋画素材技法特別研究	選択	演習	4	1	前期	小木曾誠				
	西洋画表現特別研究	選択	演習	4	1	後期	小木曾誠				
	日本画素材技法特別研究	選択	演習	4	1	前期	石崎誠和				
	日本画表現特別研究	選択	演習	4	1	後期	石崎誠和				
	漆・木工芸素材技法特別研究	選択	演習	4	1	前期	井川健				
	漆・木工芸表現特別研究	選択	演習	4	1	後期	井川健				
	窯芸素材技法特別研究	選択	演習	4	1	前期	田中石紀				
	窯芸表現特別研究	選択	演習	4	1	後期	田中石紀				
	空間表現特別研究a	選択	演習	4	1	前期	柳 健司				
	空間表現特別研究b	選択	演習	4	1	後期	柳 健司				
III群 (経済・経営)	映像デザイン特別研究a	選択	演習	4	1	前期	中村隆敏				
	映像デザイン特別研究b	選択	演習	4	1	後期	中村隆敏				
	コンテンツデザイン特別研究a	選択	演習	4	1	前期	土屋貴哉				
	コンテンツデザイン特別研究b	選択	演習	4	1	後期	土屋貴哉				
	セラミックエンジニアリング特別研究	選択	演習	4	1	前期	赤津隆				
	キュレーション特別研究Ⅱ	選択	講義	2	1	後期	小坂智子				
	アートコンサベーション特別研究	選択	講義	2	1	前期	石井美恵				
	芸術文化遺産特別研究	選択	講義	2	1	後期	石井美恵				
	美術史特別研究Ⅰ	選択	講義	2	1	前期	吉住磨子				
	美術史特別研究Ⅱ	選択	講義	2	1	後期	吉住磨子				
II群 (フィールド デザイン)	アートマネジメント・プロデュース特別研究Ⅱ	選択	講義	2	1	後期	花田伸一				
	ヘリテージマネジメント特別研究	選択	講義	2	1	後期	重藤輝行				
	都市デザイン特別研究	選択	講義	2	1	後期	有馬隆文				
	都市空間特別研究	選択	講義	2	1	後期	山下宗利				
	地域史特別研究Ⅰ	選択	講義	2	1	前期	山崎 功				
	地域史特別研究Ⅱ	選択	講義	2	1	後期	山崎 功				
	地域経済分析研究	選択	講義	2	1	前期	戸田順一郎				
	都市・交通経済分析研究	選択	講義	2	1	後期	亀山嘉大				
	地域マネジメント史研究	選択	講義	2	1	前期	山本長次				
	地域雇用政策研究	選択	講義	2	1	前期	富田義典				
III群 (経済・経営)	政策評価研究	選択	講義	2	1	後期	中西 一				
	環境法研究	選択	講義	2	1	前期	櫻澤秀木				
	流通経済研究	選択	講義	2	1	前期	宮崎卓朗				
	マーケティング研究	選択	講義	2	1	後期	洪 廷和				
	地域マーケティング研究	選択	講義	2	1	後期	山口夕紀子				
	地域商業研究	選択	講義	2	1	前期	西島博樹				
	ゲーム理論研究	選択	講義	2	1	前期	都築治彦				
	ミクロ経済学研究	選択	講義	2	1	前期	都築治彦				
	マクロ経済学研究	選択	講義	2	1	後期	谷晶紅				
	行動経済学研究	選択	講義	2	1	前期	竹村敏彦				
III群 (経済・経営)	開発経済論研究	選択	講義	2	1	後期	サーリヤ・ディ・シルバ				
	簿記会計研究	選択	講義	2	1	前期	木戸田力				
	財務会計研究	選択	講義	2	1	後期	(非常勤)大石桂一				
	管理会計研究	選択	講義	2	1	前期	小川哲彦				
	経営情報処理研究	選択	講義	2	1	前期	安田伸一				
	経営情報研究	選択	講義	2	1	後期	羽石寛志				
	経済経営データ分析研究	選択	講義	2	1	前期	中村博和				
	応用計量経済学研究	選択	講義	2	1	後期	上山和俊				
	労務管理研究	選択	講義	2	1	前期	平地一郎				
	経営財務研究	選択	講義	2	1	後期	(非常勤)大坪稔				
III群 (経済・経営)	企業法研究	選択	講義	2	1	前期	小西みも恵				
	労働関係法研究	選択	講義	2	1	後期	早川智津子				
	民事取引法研究	選択	講義	2	1	後期	中山泰道				
	国際経済研究	選択	講義	2	1	前期	張 韓模				
	国際経済史研究	選択	講義	2	1	後期	金子晋右				
	修士論文 指導科目	特別演習	特別演習Ⅰ	必修	演習	2	1	前期	指導教員		
			特別演習Ⅱ	必修	演習	2	1	後期	指導教員		
		課題研究	課題研究Ⅰ	必修	演習	2	2	前期	指導教員		
			課題研究Ⅱ	必修	演習	2	2	後期	指導教員		

● 学生センターの配置図及び業務

教務課	
文系・理系教務担当 ◆教養教育科目・専門教育科目の実施、履修相談等に関すること ◆各種証明書の申請・交付に関すること ◆大学院の学位申請に関すること ◆教育職員免許取得に関すること ◆定期試験、追・再試験等に関すること ◆転学・転学部・転学科・転課程・転専攻等に関すること ◆教育実習に関すること ◆異動に関すること ・休学、復学、退学	教務情報管理担当 ◆科目等履修生に関すること ◆研究生に関すること ◆単位互換に関すること ◆学生証に関すること ◆学生の身上に関すること ・改姓・改名・住所変更・保証人変更等
全学教育機構 ◆教養教育科目のティーチング・アシスタントに関すること	教務管理・教育企画担当 ◆授業評価に関すること



国際課
◆留学生に関すること ・国費外国人留学生給与 ・外国人留学生奨学金 ・国際交流会館 ・留学生住宅総合補償 ・ホームステイ ・留学生チューター申請 ・入国管理局への取次申請 ・資格外活動申請 ・在留期間更新申請 ・証明書の発行 ・国費外国人留学生証明書 ・各種奨学金受給証明書 ◆日本人学生に関すること ・派遣交換留学 ・短期海外研修 ・海外留学・研修奨学金

学生生活課
◆入学料・授業量の免除・徴収猶予に関すること ◆奨学金に関すること ◆学生生活支援、学長表彰に関すること ◆学生の懲戒に関すること ◆学生教育研究災害傷害保険に関すること ◆学生寮に関すること ◆課外活動に関すること ◆学生会館、サークル会館、合宿研修所に関すること ◆体育施設に関すること ◆自動車入構許可に関すること ◆旅客運賃割引に関すること ◆通学定期に関すること ◆遺失物・拾得物に関すること

教員研究室等案内図

履修案内 (平成 29 年度)

発行 佐賀大学大学院地域デザイン研究科

印刷 (株)サガプリンティング

2017.4 発行